

第六十四回帝國議會
衆議院

少年教護法案委員會會議錄(速記)第五回

會議

昭和八年二月二十二日(水曜日)午前十一時
十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 牧野 賤男君

理事松田 正一君

中野勇治郎君

星島 二郎君

犬養 健君

原 夫次郎君

青木 亮貫君

丸山 浪彌君

中野種一郎君

荒川 五郎君

山根 儀重君

小山 松吉君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 小山 松吉君

出席政府委員左ノ如シ

司法政務次官 八並 武治君

司法書記官 黒川 涉君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

司法書記官 秋山 要君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

少年教護法案(荒川五郎君外六十六名提出)

第六類第四號 少年教護法案委員會會議錄

第五回 昭和八年二月二十二日

○牧野委員長 是ヨリ少年教護法案ニ付テ會議ヲ開キマス

○山根委員 私ハ本日此少年教護法案ニ關シテ、司法省ノ御見解ヲ承リタイト思ヒマス、先以テ司法大臣ヨリ此少年教護法案ヲ御讀ミ下サツテ其要點ヲ御承知ニナツテ居ルト思ヒマスカラ、之ニ對シテ司法大臣トシテノ御所見ヲ伺ヒタイ、其御所見ノ趣ニ從ッテ尙ホ伺ハナケレバナラヌコトガアルカモ知レマセヌ

○小山國務大臣 只今ノ御尋ニ付テ御答致シマス、少年教護法案ヲ拜見致シマシタ司法省ノ立場トシテ申上ゲマス、御承知ノ通りニ感化法ガ明治三十三年ニ公布セラレマシテ、其後感化院ガ各所ニ設立サレタノデアリマスガ、感化法ノ施行ニ依リマシテ、不良少年ノ保護處分又ハ感化處分ト云フコトヲ致シマシタ、其成績ノ十分ナラザルモノガアリマシテ、司法省內務省協議ノ上ニ、別ニ少年法ト云フモノガ制定セラレタノハ御承知ノ通りデアリマス、少年法制定ノ當時ハ無論全國ニ多數ノ少年審判所及矯

正院ヲ設ケル筈デアッタノデアリマスガ、經費ノ關係上御承知ノ如ク、今日ニ於テハ東京及大阪ノミデアリマス、隨テ是ハ東京ハ東京及神奈川縣、大阪ハ大阪ノ隣縣一府一縣ト云フ管轄ニ止メテアルノデアリマス、司法省ノ立場ト致シマシテハ、今回要求モ

致シテ居リマスガ、全國樞要ナ地ニ少年法ヲ施行致シマシテ、少年法ノ規定ニ伴ヒ、審判所及矯正院法ニ依ル矯正院ヲ設ケル積リデ居ルノデアリマス、サウ云フ立場カラ考ヘテ見マスト、此少年教護法ハ第一條ニ於テ、十四歳ニ滿タザル者ニシテ不良行爲ヲ爲シ又ハ不良行爲ヲ爲ス虞アル者ニ對スル取締、マア教護デアリマスガ、其取締ヲ必要トスル所謂教護兒、而シテ第二項ニ依ル、少年法ニ依ル保護處分ノ實施セラレナイ場所ニ於テハ、十八歳未滿ノ者ヲ教護スルト云フコトニナツテ居リマスガ、是ガ此少年法ノ趣旨ト少シク副ハナイコトニナルノデアリマス、只今少年教護法ガ施行セラレルト云フコトニナリマス、少年法ヲ施行セラレナイ地區ガ極メテ多イノデアリマ

付託議案

少年教護法案(荒川五郎君外六十六名提出)
未成年者飲酒禁止法中改正法律案(丸山浪彌君外十二名提出)
古物商取締法中改正法律案(山本芳治君外二名提出)
出版權法案(原夫次郎君外六名提出)

スカラ、此部分ガ皆少年教護法ニ依ッテ、十八歳未滿ノ所謂少年法ノ支配ヲ受クベキ不良少年ガ、少年教護法ニ依ッテ支配セララル結果ニナル、是ハ餘程御考ヲ願ハナケレバナラヌハ、十八歳未滿ノ不良行爲ヲ爲シ又ハ不良行爲ヲ爲ス虞アル者ニ對シテ、此規定ニ依ル保護處分ヲ致スト云フコトハ、是ハ私ハ行政行爲トシテ穩當ナラザルモノアリト考ヘテ居ルノデアリマス、外國ノ少年裁判所ト申シマス、亞米利加ナドデハ殊ニ非常ニ發達シテ居リマスガ、要スルニ事ハ少年ニ對スル人身ノ權利ニ關係ガアリマス、ドウシテモ司法若クハ裁判所ト云フヤウナ設備ニ近イ方法ヲ以テ是ハヤルベキコトデ、純然タル行政廳ノ處置トシテハ如何デアラウカ、斯ウ云フ考ヨリ色々少年鑑別所ノコトモ、此案ヲ見テ私ハ考ヘテ居リマスガ、細イ事ニ入ルコトハ只今差控ヘマシテ、大體ニ於テ第一條ノ此原則ヲ規定シテ居ル此立場カラ考ヘマス、司法省トシテハ只今ノ少年審判所ヲ數多ク設置スルコトヲ要求シテ居リマス、而シテ又手前

味噌ヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、少年法ヲ施行セラレテ居ル地域ニ於テハ、不良少年ノ統計上ノ成績ガ可ナリ宜シイノデアリマス、サウ云フ立場カラシテ、此教護法ヲ今日施行スルト云フコトニハ司法省トシテハ御同意ヲ致シ兼ルト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス

○山根委員 只今ノ司法大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、本案ニ直チニ同意シ難シト考ヘラル、御趣旨ヲ明ニスルコトガ出来タノデアリマスガ、ソコデ斯ウ云フコトヲ伺ヒタイ、今日感化法ノ規定ニ依リマスレバ、親權者及ビ後見人ノ申出ニ依リ、地方長官ガ必要ト認メタル時ハ感化院ヘ入レルコトガ出来ルヤウニナッテ居ルト思フノデアリマス、此感化法ニ例外規定ガアルノデアリマス、ソレガ今日事實行ハレテ居ルヤウデアリマスガ、ソレモ少年法ガ全國ニ施行セラル、マデ不適當デアルカラ待ッテ居レ、サウ云フ處分ハ相成ラスト云フヤウニ御考ヘニナルノデアリマスガ、感化法ノ例外ハ少年法ガ完全ニ全國ニ施行セラレルマデ、在ッテ差支ナイト御考ヘニナッテ居リマスガ

○秋山司法書記官 御尋ノヤウニ現行感化法ニ於キマシテハ、其附則ニ於テ少年法ニ依ル保護處分ノ實施セラレザル地區ニ於キ

マシテハ、尙ホ從前ノ例ニ依ルト云フコトニナッテ居リマシテ、十八歳未満ノ不良少年ニ對シテモ感化法ガソレヲ處置スルコトニハナッテ居リマスルケレドモ、是ハ極メテ暫定的ノモノデアリマス、若シ之ヲ將來改正デモシヤウトスル場合ニハ、既ニ少年法ヲ布カレテ十年モ經過シテ居ル今日、斯様ナ暫定的ナ附則ハ寧ロ削除サルベキモノデアルト思フノデアリマス、然ルニ本案ニ依リマスルト、此暫定的ノ附則ヲ第一條ノ第二項ニ持ッテ參リマシテ、全ク原則的ノモノニシテシマッテ居ルヤウデアリマス、ソレデアリマスカラ將來少年法ニ依ル保護處分ノ實施ガ全國的ニ出来マスルト、折角原則的ニ十八歳マデノ少年ヲ處理スルコトノ設備ヲ致シマシテモ、ソレハ大變無駄ナモノニナッテシマヒハセヌカト、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス

○山根委員 サウスルト斯ウ云フコトヲ伺ハナケレバナラスト思フノデアリマス、矯正院ヲ全國各地ニ設ケラレルト云フコトニ付テハ、非常ニ多額ノ經費ヲ要スル、ソレガ爲ニ東京大阪ノ二ツノ矯正院シカ設置シテナイノデアリマス、然ルニ此少年教護法ハ現左ノ感化院ヲ利用シテ行クノデアリマス、隨テ或ル地方ニハ其感化院ヲ特別ニ擴

大シナケレバナラスト場合モアルカモ知レマセヌガ、左程ノ擴大ヲシナクテモ、或ル程度マデハ間ニ合フ場合ガアルト云フコトヲ想像シ得ルノデアリマス、故ニ俄ニ全國ニ完全ナル矯正院ヲ設クルヨリモ、現在ノ感化院ヲ利用シ得ルナラバ利用シタ方ガ、斯様ナ不良少年ヲ棄テ、置クヨリモ國家ノ爲ニ有利デアルト云フコトハ申ス迄モナイ、ソレガ爲ニ此感化法ニ例外ヲ設ケテ、便宜ノ處置ヲ執リ得ルヤウニナッテ居ルノデアリマス、隨テ此少年教護法ノ第二項ニ於テモ、實施セラレザル地區ト云フノデアリマスルカラ、實施セラル、ニ至リマスレバ、此少年教護法ニ依ラナクテ宜シイト云フ根本精神デアアルノデアリマス、サウスルト今ノ保護課長ノ御説明ニ依リマスルト云フト、此少年教護法ニ依ッテ立派ナ設備ヲシテシマヘバ、少年法ヲ施行スル時ニ二重ノ關係ニナッテ、之ヲ廢止スルニ困ルト云フヤウナ御話デアリマスルケレドモ、ソレハサウヒドク心配サレル必要ハナイ、若シ本質トシテ少年教護法ノ第一條ノ中ニ之ヲ入レルノガ不適當デアルト云フナラバ、今私ガ申上ゲタ便宜主義ニ依ッテ、感化法ノ附則ニ於テ之ヲ規定シテアルヤウニ、少年法ニモ便宜暫定經過法トシテ此第二項ヲ附則ニデモ

持ッテ行クヤウニナリ、或ハ其他ノ條項ニ持ッテ行クヤウニナッタナラバ、司法省ハ之ヲ御賛成ニナルコトガ當然デアラウト思フノデアリマスガ、如何ニ御考ヘニナリマスカ

○秋山司法書記官 御答致シマスガ、現在ノ少年法ニ於キマシテモ、矢張感化院ヲ利用致シテ居リマス、少年法ノ保護處分ト云フモノハ、御承知ノヤウニ感化院送致ト云フ處分ガゴザイマス、之ニ依ッテ感化院ニ送致スルコトガ出来マスルノデ、感化院ヲ利用シテ居リマスルコトハ今日モ其通りデアリマス、ソレデ、第一條ノ第二項ヲ附則ニシタラドウカト云フヤウナ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ附則ニ致シマスレバ、其他ノ點ヲ除イテハ現行感化法ト同ジニナルノデアリマスルカラ、其點ニ付テハ別ニ異存ハアリマセヌ、アリマセヌガ、本來附則ト云フモノハ極メテ暫定的ノモノデアリマスルノデ、感化法ヲ改正デモスルヤウナ機會ニハ、成ベクナラバ是ハ削除シテ戴キタイト云フノガ、司法省ノ意見デアリマス

○山根委員 理論ノ本質論ト、ソレカラ現實ノ實際論ト一緒ニシテ考ヘルコトハ、私共實際家トシテ間違デアルト思フ、理論ハ少年法、感化法、年齡十四歳ヲ區別シテ、

サウシテ刑法ノ上カラ區別サレテアルノデアリマスカラ、取扱フ區別スル、斯ウ云フコトハ理論デアリマス、併シ實際トシテハソコニ考索スルノガ當然デアリマス、是ハ事實ニ即スルノデアアル、而シテ現在ノ事實ニ於テ矯正院ガ多大ノ經費ヲ要スルカラ、財政ノ都合上全國ニ一時ニ施行シ得ナイノデアアル、故ニ其間ノ便宜法ヲ設ケルト云フコトハ當然デアアル、何モ少年法ガ完全ニナル迄ハ何モ一切手ヲ著ケズニ置クナド云フコトハ、是ハ理論ニ囚レタ考方デアッテ、實際ニハ即シナイノデアリマス、故ニ感化法ノ其特別條項ヲ取リタイト云フノデハナクシテ、取ラレルヤウナ事實ニナッタラ自然ニ取ラレル、斯ウ云フコトデアアルナラバ私共承服致シマスケレドモ、ドウモ今ノ御答辯デハ私共承服シ難イ、隨テ矯正院ガ完全ニ出來得ナイ間ハ、少年教護法ニ於テ之ヲ取扱フコトハ、私共少シモ差支ナイコト、思フノデアリマシテ、ソレガ五年掛ルカ十年掛ルカ知レマセヌガ、其間アッテ差支ナイ、又今ノ御話ノヤウニ第二項ヲ取ッテシマヘバ、感化法ト同様デアアルカラ、此教護法ノ趣旨ガ没却サレルト云フ御話デアリマシタ、幾分私ハ其御話ノ趣旨モアルと思フ、此少年教護法ヲ私共考ヘテ居リマス時ニ、

斯ウ云フコトヲ考ヘル、ト云フノハ現在矯正院デ矯正シテ居ル、私ハ實際ヲ見ニ行ッタコトハアリマセヌケレドモ、傳ヘ聞キマスト、先程司法大臣ノ御答辯ノヤウニ、所謂刑事犯人ヲ扱フ趣旨ニ從ッテ處置ヲシテ居ラレル、斯ウ思フノデアリマス、私共ノ考ヘル所ニ依リマスト、成程法律的ニハ十四歳未満ト云フ區切りガアルカモ知レナイ、併ナガラ事實ニ於テハ其間ニハッキリシタ區別ヲ設ケルコトハ、實ハ難カシイ、其犯罪ノ性質ニ依リ、其不良少年ノ心理狀態ニ依リマシテ、所謂刑罰的ニ或ハ刑務所式ヲ加味シタヤウナ、取扱方法ヲシナケレバナラナイモノガアルデアラウト云フコトヲ私共ニ想像致シマシテ、司法大臣ノ御話ニ同意ヲ致シマス、併シ又他面ニ於テサウデナクシテ寧ろ教育的、保護的ノ方ガ七割モ八割モ占メテ取扱フ方ガ寧ろ適當デアアル、斯様ニ考ヘラレ得ル不良少年ガ又相當ニアルト私共考ヘル、何モ十四歳以上ノ者ハ非常ニ極端ニ趨ッタ不良少年ノミデハアリマセヌ、又甚シキ刑罰的處置ヲシナケレバ、是ガ矯正セラレナイヤウナ程ノ者バカリデモナイ、是ハ事實デアアル、事實デアルトスレバ、矯正院ト云フ所ハ先程司法大臣ノ御話ノヤウナ趣旨ニ出來テ居ル、ソコニ持ッテ

行ッテ——教育及保護ト云フコトヲ重要ナル要素トシテ考ヘナケレバナラヌ少年ガアリマシタ場合ニ、之ヲ矯正院ノ中ニ一緒ニ入レテ置クト云フコトハ、是ハ矯正スルト云フコトヨリモ、或點マデ却テ惡イ方ニ傳染スル虞レナキニシモアラズナノデアリマシテ、ソレハ寧ろ教育的保護的精神デアアル所ノ今ノ感化院、此法律ニ依リマスト、救護院、此モノニ依ッテ教育的、保護的ヲ主眼トシテ教育ヲ爲スコトガ適當デアルト云フ風ニ考ヘラレルカラ、或意味ニ於テハ暫定的デアリ、或意味ニ於テハ本質的ニ此中ニ入レテアルノデアリマスガ、司法省ノ考デハ——十四歳以上ノ者ハ少年法デハ感化院送リト書イテアルガ、ソレヲモ取ッテシマヒタイ、將來又感化院ニ十四歳以上ノ者ヲ入レルヤウニナッタ暫定的ナソレヲモ取ッテシマヒタイ、十四歳以上ノ者ハ悉ク矯正院ニ入レナケレバナラヌ、矯正院ノ精神ハ刑罰ニ重キヲ置ク精神デアアル、斯ウ云フ風ニ御考ニナルノデアアルカ、私共ハ事實ハ之ニ反スルト考ヘルノデアリマスガ、司法省ノ事實ニ關スル御認識ヲ承リタイノデアリマス

ノ感化院ニ當ルモノ、之ニ入院セシメテ、サウシテ矯正院ニ代用スルト云フヤウナコトモ出來ルデハナイカト云フ御言葉モアッタヤウデアリマスガ、其處ガ少シ私共ト見解ノ違フ所デアリマシテ、今日ノ少年法ノ立場デ少年法ノ規定ニ依リマシテ處分ヲ致シテ居リマスル十八歳未満ノ少年ハ、其不良性ノ情狀ニ依リマシテ感化院ニ送致シマス、其感化院ニ送致スベキ程度ノモノニアラズト見タ時分ニハ、矯正院ニ送ルノデアリマス、ソレデ矯正院ハ御承知ノ司法部デ扱ッテ居リマス少年刑務所トモ亦違フノデアリマス、感化院ニ入レテハ不十分デアルト云フヤウナ、不良性ノ少シク程度ノ進ンダ者ヲ矯正院ニ入レテ居リマスカラ、此二ツノ區別ハ只今ノ御説ニ依リマスト、全ク混同サレテシマフ譯ニナリマス、少クトモ十四歳以上ノ人ニ向テ感化院ニ入レルニシマシテモ、矯正院ニ入レルニシマシテモ、司法部ノ希望スル所ハ、少年審判所ト云フヤウナ司法處分ニ其實質ヲ持ッヤウナ場所デ慎重審議ノ末ニ決メタ方ガ宜イ、斯ウ云フ立場デ居ルト云フコトヲ申上ゲタ趣意デアリマス、況ヤ矯正院ニ入レルヤウナ場合ノ者ハ、ドウシテモ十分ニ少年ノ將來ヲ考ヘテ處置ヲシナケレバナラヌモノデアリマ

ス、少年法ノ立場デハ繰返シテ申シマス、感化院送致ト矯正院送致ト二通りアリマス、サウシテ御説ノヤウニ教護法案ニ依ル所謂感化院ニ代用スル教護院ニ、兩方トモ入レテ置イテ宜カラウト云フコトハ、一寸私共御同意致シ兼ネルノデアリマス

○山根委員 私ノ御伺致シテ居ル所ハ、此第二項ノ點ニ於テ二ツノ場合ヲ考ヘラレ得ルノデス、不良少年トシテ取扱ハレルベキ者ヲ悉ク教護院ニ入レヨウト云フ意味カ、或ハ教護院ニ入レベキモノトソレカラ矯正院ニ行クベキモノト區別セラレテ、現在ノ少年法ニ於テ感化院送致ト云フモノガアルヤウニ、十四歳以上ノ者ハ此教護院ニ送致セラレ、斯ウ云フ風ニ二ツニ分ケテ考ヘ

ルコトガ出來ルト思フノデス、ソレデ少年法ニ於テ感化院送致ト云フ處分ニナッテ居リマス者ハ、少年法ノ施行區域ガ全國ニ普及致シマシテモ、矢張少年法ノ中ニ此感化院ニ送致ノ部分モ殘シテ置カレルカドウカト云フコトヲ伺ヘバ、趣旨ガ明ニナルト思ヒマス

○小山國務大臣 ソレハ殘シテ置ク趣意ニナルノデアリマス

○山根委員 サウスレバ少年審判所ニ於テ矯正院ニ送ルベシト判斷セラレタ者ニ付テ

今送ルベキ場所ガ無イノデス、而モ財政ノ都合上容易ニ出來スト云フコトデアルナラバ、若シ此教護院ニ於テ暫時代用シ得ルコトガ出來ルナラバ、暫定的ニ教護院ニ、完全デハナイガ當分ノ間送ラレテモ差支ナイデアリマセウカ、ドウデアリマスカ

○小山國務大臣 此點ハ少年審判所ノ少年法適用ニ關スル個々ノ場合デアリマスカラ一寸御答致シ兼ネマスガ、矯正院ガ無イト云フコトニナレバ、ドウモ矯正院送致ト云フ處分ハ出來ナイト思ッテ居リマス

○荒川委員 只今ノ御問答デ大體ノコトハ普通ノ常識デ分ル譯デアリマスガ、現司法大臣ハ殊ニ此方面ニハ御注意ニナッテアレル方デアリシ、更ニ大臣ノ御實見デアラレル高瀬眞卿氏ハ明治十八年ニ市ヶ谷ノ懲治所ヲ出サレタ松岡藤太郎ト云フ青年ガ、懲治所ハ出サレタガ身ノ落付キ所ガナイノデ、大臣ノ御實見デアラレル高瀬眞卿氏ノ所ヘ頼ッテ來テ憐ミヲ乞フタノデ、高瀬眞卿氏ハ徐ロニ其狀況ヲ聽カレテ、其際大ニ感化院ノ必要ヲ感ゼラレテ、遂ニ自ラ奔走盡力シテ東京感化院ト云フモノヲ明治十八年ニ作ラレタノデアリマス、東京デ感化院ノ出來タノハソレガ初メデアリマス、又其前年ニ大阪デ池上雪枝ト云フ婦人ガ感化院

ヲ作ッテ、ソレト殆ド前後シテ、否少シ後クレタカス様ニ東京感化院ガ出來タノデアリマス、ソレガ斯ク司法處分デアル懲治所カラ起ッタノデアリマス、即チ懲治所ヲ出タ出タニ拘ラズ頼ル所ガナイ、頼ル所ガナクテハナラヌカラ、東京感化院ヲ作ラレタ、サウ云フ風デ肉身ノ御兄弟ノ御關係デアル、其淺カラザル因縁ノアル御方ガ現ニ司法大臣ニ居ッテ下サルト云フコトハ、不良化少年ノ保護、教護ニ付テ、私共ハ御説ヲ承ラヌ前カラ洵ニ心強サヲ感ジテ居ルノデアリマス、今日東京ニモ矯正院アリ、大阪ニモアリマシテ、ソレニ私立ノモノモ澤山アルノデアリマスガ、入ッテ居ル者ハ成績ガ好イカモ知レマセヌガ、不良化少年、危險少年ハ街間ニハ滔々トシテ殖エツ、アッテ、家庭、學校ヲ一歩出ヅレバ殆ド東京モ大阪方面モ惡魔ノ巢窟ミタヤウナモノデアリマシテ、ソレハ多クノ不良少年アリテ他ノ者ヲ不良化シ、又一般人ニ不安ヲ與ヘツ、アルコトハ、恰モ虎ヲ野ニ放ッテ如キ有様デ、彼等ノ毒ノ爪牙ニ委セラレテ居リマス、私共教育ニ力ヲ盡スニ當ッテ、此街頭ニ於ケル不良分子ノ廓清ニ力ヲ用ヒナケレバ學校内ノ教育モ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、殊ニ此方面ニ犯罪ノ卵ヲ蒔散ラシテ居ルト云フコ

トハ、是ガ爲ニ實ニ警察、裁判所或ハ刑務所等ノ費用ガ日ニ月ニ大増加ヲ來タスノミナラズ、一般ノ社會不安、殊ニ子弟ヲ持つテ居ル良家ノ父兄ハ、ドノ位今日心配シテ居ルカ、今日程進シテ世ノ中ニ於テ子供ヲ通學サセル途中スラ非常ニ心配セラレルノデアル、ソレハ何故カト云ヘバ、往々途中デ惡少年ノ毒牙ニ掛ッテ、アタラ有望ナ者ヲ誤ラレタ例ガ澤山アルカラデアリマス、是等多數ノ者ヲ救護スルニハ學校外ノ監督、サウシテ斯ウ云フ矯正ナリ、感化ナリノ事業ニ十分ニ力ヲ盡サナケレバナラス、故ニ學校教育ガ大切ナラ此街頭ノ監督教護ガ大切デアル、若シ教護ノコトガ大切デアルトスレバ、假令學校教育ノ費用ヲ減ジテモ、不良少年ノ感化ヲシナケレバナラスト云フコトハ、實際ノ狀況ヲ見テ私共痛切ニ感ズルノデアリマス、隨テ私ハ少年法ノ出來タ時分ニ其委員トナッテ、サウシテ少年保護ノ事ナリ感化ノ事ノ大切ナルヲ痛感シ、爾來研究ヲ心ニ掛ケツ、モ隨分年月ハ經ツノデアリマスガ、其間ニ於テ少年法ノ實施行ハ極メテ遅タトシテ居ッテ、大正十一年ニ出來タ少年法ハ唯東京ト大阪ニ行ハレテ居ルノミデアッテ、爾來何等進展ヲ見ナイ、漸ク今年豫算ガ通レバ名古屋ヘモ一箇所進メル

ト云フ位ノ有様デアル、既往ニ顧ミテ將來ヲ考ヘレバ、少年法ヲ全控訴院管内ニ行ハレルヤウニシヨウト思ウテモ、ソレハ今迄ノ状態カラ推セバ何十年掛ルカモ分ラナイ、併シ此事ハ財政ニ關係致シマスカラ已ムヲ得マスマイガ、併シ其間ニ於テ一方ニハ惡少年ハ滔々トシテ殖エル、此世ノ中ノ不安、不良化少年ノ殖エルコトニ對シテハ、國家トシテ斷ジテ猶豫スベキデナイノデアリマスカラ、ソコデ其行フベキ施設ハ何トカシテ行ハナケレバナラヌ、唯經費ガ出ナイカラト云ッテ此儘打遣ッテ置クベキ事柄デナイト思ヒマス、ソコデ私共之ヲ研究シマスト、幸ニモウ十數年前カラ此法案ノ改正ニハ、社會事業調査會ナドニ於テモ研究サレテ居リマスカラ、ソレ等ノ方面ノ經過モ參考トシ斟酌モシ、又條文ヲモ整理シテ茲ニ出シタノガ此少年教護法案デアリマス、此處ニ問題ノアルノハ年齢ノ點デアリマスカ、此少年法ノ出來ル時分ニ一番問題トナッタノハ年齢デアリマシテ、即チ之ヲ横ニ切ッテ年齢ニ依ッテ差別シテ行クト云フノデアルガ、併シ人ニ依ッテハ惡性ノ弱イ者モ、惡性ノ強イ者モアルカラ、之ヲ堅ニ切ッテ一ハ懲治的ニ一ハ教育的ニ改善シテ行カネバナラヌモノデアルノニ、之ヲ年齢デ横ニ

切ッテ、サウシテ其不良性ノ如何ヲ顧ミラレズニアッテハ、極メテ不合理デアルト云フノガ此少年法ヲ制定スル當時ノ關係者ノ頭ヲ痛メタ問題デアッタノデアアル、此問題ガ主デ此少年法ハ大正九年カニ始メテ司法省カラ出サレタガ、其當時ニハ司法省デハ非常ニ盡力セラレタニ拘ラズ成立シナカッタ、其次ニモ亦成立シナカッタ、所ガ漸クニシテ先ヅ年齡十四歲デ打切ラウ、併シ年齡デ打切ルケレドモ、年齡十四歲ハ少クテモ其惡行ノ重イ者ハ少年法デ支配スルト云フヤウニ、即チ地方長官ヨリ矯正院ニ送致スルコト、又年齡ハ多クテモ不良性少クシテ之ヲ教育的ニ改善シテ行ケル者ハ感化院ニ送ルト云フコトガ認メラレテ、年齡デハ切ルケレドモ本人ノ性情ニ依ッテ一方ハ分界點ノ上ニ、一方ハ其下ニ、双方ニ行キ得ルト云フ例外ヲ開キ、茲ニ始メテ教育的又ハ社會的政策的ト、不良者ノ程度ニ應ジテヤルコトガ出來タル途モ開イタノデアリマス、隨テ此法ハ少年法ガ如何ニ費用ガアッテ全國ニ及ンデモ、全部ヲ刑事政策デ押付ケルニ非ズシテ、之ヲ行政處分トシテ寧ロ教育的ニヤル範圍ノモノガ多イノデアリマス、其不良化ノ早期ニ於テ不良ニナラヌヤウニシヨウト云フノガ、是ガ國家ノ目的デアリ第一ノ仕事デ

アル、ソレ以下ノ所ヲ少年法ニ讀ラウト云フノデアリマスカラ、隨テ只今繰返サレタ問答ニ依リ山崎君ノ言ハレタ通りデアルシ、又政府ニ於テモ是迄ノ根本方針ニ更ニ觸レヨウト云フノデアリマスカラ、法律ノ簡條ハ何處ニ置カト云フコトハ是ハ第二ノ問題デアッテ、此刑事政策ニ依ル少年法、行政處分ニ依ル感化法、サウ云フヤウニ一方ハ幾ラカ犯罪的ニ近イモノ、一方ハ教育的デアルト云フヤウニ、國家ガ不良竝ニ不良化ノ少年ニ臨ム態度ニ何等變リガナイ以上ハ、此根本ニ於テ司法當局モ何等反對セラル、理由ハナイヤウニ考ヘルノデアル、幸ニ今日ノ内閣ハ極メテ公平ニヤラレルシ、殊ニ司法當局ニ於テ最モ公平デアリマスガ、今ヤ一般ノ弊トシテ世間ノ遺憾ニ感ズルノハ、政務ノ局ニ當ル者ガ皆自分ノ領分ヲ廣メルコトニノミ熱中シテ、常ニ自分ノ範圍ヲ侵サレハスマイカト云フ、サウ云フ考ガ基トナッテ、政務ノ要ヲ疏通スルコトガ出來ズ、重要ナル問題モ行詰ル弊ガアル、コレハ大ニ猛省スベキコトデ、一體國家ノ目的カラ言ヘバ、司法省トシテハ成タケ裁判所モ刑務所モ無クスルヤウニナッテ來ルノガ國家ノ希望デアアル、司法ノ仕事ノ殖エルノハ大ナル不幸損害デアアル、若

シ司法省ノ仕事ヲ殖ヤサウイ云フナラバ、日本中ニ罪人ヲ多ク拵ヘサヘスレバ宜イ、併シ天下ノ大處高處ニ立ッテ國家ノ政治ヲ脊負フ司法大臣トシテハ、成ベク司法省ノ仕事ガ少クナルヤウニ努メテ下サルコトガ、國家ニ對シ民族ニ對スル重要ナル仕事デアル、殊ニ司法大臣ハ御實兄ガ涙ヲ以テ作ラレタ東京感化院ノ歴史ニ顧ミテモ、一段ノ御配慮ヲ願ヒタイト思フ、只今ノ御問答ニ依ッテ御精神ノアル所ハ分リマシタガ、更ニ滔々トシテ殖エル不良化少年ヲ救済スルコトニ付テハ、十分ナル御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマシテ、茲ニ敬意ヲ表シ又希望ヲ申上ゲマス

○山崎委員 簡單ニ今ノ續キヲ……此少年教護法ニ關係シテ居ル人ガ、司法省ガ本案ニ反對セラレルハ斯ウ云フ點ガアリハシナイカト憂ヘテ居ル、ト云フノハ少年法ハ十四歲以上、併シ十四歲以下ニ下ゲルコトガ出來ルヤウニ法律ノ規定ガナッテ居ル、隨テ少年法ヲ段々擴充シテ行ッテ、所謂感化法ニ依ルベキ部分モ少年教護法ニ依ル部分モ、成ベク多ク少年法ニ依ッテ不良性ノ者全部ヲ取扱ハフ、斯ウ云フ御意思ガアルノデ、此少年教護法ニハ反對セラレルノデハナイカト云フ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、ソ

レニ對スル司法大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○小山國務大臣 山杣君ノ御尋ニ御答致シ

マスガ、司法省ト致シマシテハ只今御尋ノヤウナ考ヲ持ッテ居ルノデアリナイノデアリマス、感化法ト少年法トハ竝ビ行ハルベキモノダト考ヘテ居リマス、只今荒川君ヨリ感化法ニ關スル沿革其他ノ御説明ガアリマシタガ、私ハ感化法ト云フモノヲ適當ニ施行致シマスルト、是ハ確ニ十四歳未満ノ少年ニ對シテハ效果アリト確信シテ居ルノデアリマス、所ガ少年教護法ノ理由ニアリマスヤウニ感化法ヲ根本的ニ改正シテ、少年ノ不良化ヲ未然ニ防止シナケレバナラスト云フコトハ、私モ御同感デアリマスガ、少シ立入ッテ申上ゲマス、今日ノ感化院ト云フモノハ荒川君ノ御述ニナリマシタヤウニ成績ガ餘リ良好デナイノデアリマス、是ハ感化院長ノ爲人ニ依ルノデアリマシテ、北海道ニ在リマス某氏ノ家庭學校ノ如キハ成績極メテ宜シイノデアリマス、其他ノ府縣ニ於テモ或ハ神戸ニ於ケル土山學園、是等モ度々行ッテ見マシタ、其他大阪方面ノモ見テ内情ハ可ナリ知ッテ居ルノデアリマスガ、成績ヲ良好ナラシメルニ於テハ、法律ノ改正又ハ少年鑑別所ヲ設ケルト云フヤウナコトデハ成績ヲ擧ゲ得ナイノデアリマス、少

年ガ感化セラレテ善良ナ人ニナリマスノハ、全ク院長ノ爲人ニ感化サレルノデアリマス、餘計ナコトヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、私ハ經驗ガ多少アリマスカラ申上ゲマスガ、子供ガ良クナルノハ、自分ノ行爲ガ悪イカラ惡イコトヲ改メヨウト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル者ハ極ク少イノデアリマス、自分ノ信賴スル院長ナリ、又ハ院長ノ次ノ指導スル教師ガアリマシテ、其教師ニ褒メラレルト云フコトガ彼等ノ非常ナ一ツノ誇リニナル、大變善イコトヲシタ、オ前感心ダト言ハレ、バ、ソレデ少年ハ満足シ、其院長ナリ指導者ノ宜シクナイト言フコトヲシナイデ居ル中ニ段々良クナル、ソレデアリマスカラ、或ル不良者ハ非常ニ良クナリマシタガ、自分ノ信賴シテ居ル人ガ死ンダ爲ニ惡クナッタ、何故サウ云フコトヲスルカト言ヘバ、モウアノ人ガ居ナイナラバ、私ハ何モ一生懸命ニナッテ善イコトヲスル必要ハナイト言ッタ例ガアルノデアリマスガ、是ハドンナニ制度ヲ改正致シマシテモ、法律ヲドンナニ完備致シマシテモ、私ハ感化院ノ成績ハ擧ラナイ、是ハ全ク人ニ依ル、私等ガ此法案ニ付テ御趣旨ハ實ニ贊成デ結構ナコト、思ヒマスケレドモ、ドウモ此規定ハ少年法ノ領域、國家ガ既ニ方針ヲ定メ

マシテ大正十一年來感化法ト少年法トヲ竝行スルヤウニ致シテ居リマス、其領域ヲ大分進ンデ來テ立法上ノ趣旨ニ反スルヤウニ感セラレマス、矢張感化法ヲ改正スル必要ガアリマスナラバ、感化法ノ現行ノ範圍内ニ於テ十分ナル御改正ヲ爲サレバ宜イ、少年法ハ今財政上ノ關係デ全國ニ施行スルコトハ出來ナイノデアリマスケレドモ、是ハ財政ガ許ス時ニ於テハ各地方モ熱望シテ居ルノデアリマスカラ、追々ニ擴張スルコトモ出來ヤウト思ヒマス、簡單ニ申上ゲマスレバ司法省ハ自分ノ領分ヲ擴張スルト云フヤウナ考ハ毛頭ナイ、私共ハ暇ニナルコトヲ非常ニ希望シテ居ルノデアリマスカラ、ドウゾ其點ハ御諒承ヲ願ヒマス

○山杣委員 只今ノ御話ノ趣旨ハ私モ御同

感ノ點ガ多イノデアリマスガ、此感化法ト違フ所ハ例ヘバ今ノ精神鑑別ノ點デアルトカ、或ハ家庭其他ニ於ケル保護處分デアルトカ云フヤウナ點ガ餘程違ッテ居ルト思ヒマス、感化法ニ依ルト最初カラ感化院ニト云フヤウニ出テ居リマスガ、是ハ感化院以外ノ處分ヲ認メテ居ルノデアリマス、即チ其書イテアルコトハ大體少年法ニ書イテアルヤウナコトガ書イテアルト思ヒマス、其點ハ少年法ニ食入ッタヤウニモ見ヘマスケ

レドモ、ソレハ十四歳以下ノ者ニハサウ云フ處分ノ規定ハ從來ナイノデ、ソレヲ新ニ設ケテ見タノデアリマス、是ハ少年法ノ範圍ニ食入ルト云フヨリモ、少年法ニ倣ッテ十四歳以下ノ者ニ所謂感化院以外ノ色々ナ處分ヲ認メテ行ク、斯ウ云フコトヲ言フノデアリマスガ、其點ニ付テハ御同意デアラウト思ヒマスガ……

○小山國務大臣 倣ッテ斯ウ云フ職員ヲ御

置キニナルトカ、或ハ其他ノ規定ニ御倣ヒニナッタト云フコトデアラナラバ、決シテ反對ハナイノデアリマス、唯十八歳迄ノ者ダケヲ此法ニ依ッテ處置スルト云フヤウナコトハ、ドウモ私ハ感化ト云フ領域ヲ超エテ居ルト云フヤウナ感ジガアル、是ハ餘計ナコトヲ申上ゲルヤウデスガ、外國ノ近頃ノ少年ニ對スル取締ハ成ベク行政行爲、ソレカラ警察行爲デナイヤウニシテ行カウト云フヤウナ傾向ヲ持ッテ居リマスカラ、サウ云フ點ニ於テ餘程御注意ヲ願ハナケレバナラス、又吾々モ考ヘナケレバナラスト思ッテ居ルノデアリマス

○山杣委員 今司法大臣ノ御話ノ御趣旨ハ、其點ハ出來ルダケ罪人ヲ報復主義カラ段々離シテ行ッテ、サウシテ教育主義ニ移ッテ行クト云フノガ大體ノ傾向デアラウト思

ヒマスガ、殊ニ十四歳以下ノ者ハ義務年限ノ中ニアル者デス、是ヲ實ハ保護ト云フヨリモ寧ロ教育機關ノ方ニスレバ、先ノ御心配ト同様ノ點ニ於テ餘程宜イカト思ヒマシガ、是ハ多年サウ云フ子供ヲ御取扱ニナッテ居ル御經驗上、寧ロ内務省所管ヨリモ――是ハ所管ノコトヲ批評スルト甚ダ變デアリマスガ、本當ノ學校主義ノ立場ニナッタ方ガ此敎護院ノ趣旨ガ徹底スルモノデハナイカト思ヒマス、ソコデ感化院ト云フ代リニ敎護院ト云フ名前ニ變ヘタノモ、出來ルダケ教育的ニ行キタイト云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマスガ、ソレニ對スル司法大臣ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○小山國務大臣 ナウ云フ御趣意デアラナラバ、反對スル譯デハアリマセヌ、十四歳未満ノ者ヲ學校主義ニ敎護シテ行クト云フナラバ、決シテ反對シナイノデアリマス

○荒川委員 只今ノ大臣竝ニ山橋君ノ御問答ノ通りデアリマシテ、外國デハ感化法ト云フ文句スラ嫌フヤウニナッテ、亞米利加デハ「カリフォルニア」ニ最近出來タコトデアリマスガ、之ヲ二十四時間學校ト言ッテ居リマス、即チ感化院ハ教育スル所デアアルガ普通ノ教育ハ學校ト家庭ガアル、家庭カラ學校ニ通フノデアアルガ、此教育ハ二十四時

間全部ヲ打通シテ學校ニ入レテ置クノデアルト云フ意味デ以テ、二十四時間學校ト云フコトニ致シテ、二十四時間學校法ト云フヲ「カリフォルニア」ニ作リマシテ、是ハ中央政府ノ認可ヲ得テ、遂ニ文部ノ認定ヲ得テ其學校ヲ了ヘタ者ハ義務教育ヲ了ヘタ者、斯ウ認メルコトニナッテ居ル、亞米利加ニモ其精神ガ廣マッテ居ルノデアリマス、今日本デモ感化院ニ居ッタスレバ、是ハ惡人ノ卵ダナド、思ハレルヤウニナルト、折角善良ニナッタ者ガ世ノ中ニ出テ前途ガ暗黒ニ感ゼラレル、將來アル者ニ光明ヲ與ヘヨウト云フノガ主義デアルカラ、本案ハ感化院ト云フ名前ヲ改メテ敎護院ニシヨウト云フ迄ニ至ッタデアリマスカラ、ドウゾ其御積リデ一ツ少年ノ爲ニ之ヲ御審議下サッテ、御採用願ヒタイト思フノデアリマス

○中野(種)委員 私共ハ他ノ質問ヲ持ッテ居リマシタケレドモ、提案者竝ニ山橋君ニ殆ド時間ヲ費サレマシテ、相當質問モ盡キタヤウデアリマスカラ、茲ニ私ハ質問ヲ省略致シマスガ、簡單ニ結論ダケ伺ッテ置キタイト思ヒマス、第二日ノ時ニ私共内務省ノ本案ニ對スル所見ヲ伺ヒマシタ所ガ、内務省ニ於キシテハ世相ニ鑑ミテ少年鑑別所其他改正ノ必要アリト認メ、今尙ホ

是ガ考慮實行中デアルト答ヘラレタノデアリマス、只今司法大臣ノ御意見ヲ承リマス、司法省ニ於テハ少年法ハ東京大阪ニ實施シテ其效果頗ル徹底シテ居ル爲ニ、本案ニ對シテ第一條ノ原則ガ少年法ニ食入ッテ居ル爲ニ、行政處分トシテハ穩當ヲ缺ク故ニ、此案ニハ遺憾ナガラ反對デアアル、併シ將來少年法ガ徹底スルト雖モ現行少年法竝ニ感化法ノ兩立ハ之ヲ認メルモノデアアル、斯ウ云フ御議論ノヤウニ承リマスガ、左様ニ違ヒアリマセヌカ、言換レバ本案ニ對シテハ反對デアアル、斯ウ云フ結論ガ御意見ノ趣旨ト相成ルノデアリマスカ、最後ニ一言御伺致シマス

○小山國務大臣 御答致シマス、只今御説ノ通り感化法、ソレト少年法トハ兩立スベキモノト考ヘテ居ルノデアリマス、司法省ガ少年敎護法ニ御同意出來マセヌノハ、此規定ノ趣旨ガ感化法ノ領域ト申シテ宜イカドウカ知リマセヌガ、領域ヲ幾ラカ超越シテ少年法ノ領域ト今法理上決マッテ居ル部分ニ御入りニナッテ居ルヤウニ感ズルモノデアリマスカラ、其點ニ於テ御同意出來ナイト云フノデアリマス、無論少年法ハ感化院送致ト云フ保護處分ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、感化院ハ司法省デハ認メテ居

ルノデアリマス

○中野(勇)委員 此敎護法案ガ若シ法律トシテ實施セラレル場合ニハ、現在ノ感化法ハ廢止スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカ、即チ提案者ノ趣旨ハ現在ノ感化法ニハ物足ラナイ點ガアル、非常ニ不徹底ノ點ガアルカラ變ヘヤウト云フ趣旨ノヤウニ承ルノデアリマスガ、政府ハ現在ノ感化法ヲ改正スル意思ガアルノデスカドウデスカ、即チ提案者ノ御考ハ現在ノ感化法ニ不備ガアレバ之ヲ改正スルモ宜シイガ、或ハ條文ヲ一々茲ニ訂正修正スルコトモ面倒ナ爲ニ、全然根柢カラ變ヘタ方ガ宜イト云フコトガアルカモ知レマセヌガ、要スルニ現在ノ感化法ハ不満足デアリ不徹底デアアル、斯ウ云フコトカラ編出サレテ提案セラレタモノト思ヒマス、之ニ對シテ司法省ガ先刻カラ御同意ナサラスト云フノハ、少年法ノ區域ニ入ルコトガ適當デナイ、其點ハ山橋君モ言ハレマシタガ、假ニ一條ノ二項ヲ切離ストカ或ハ終ヒノ附則ニ持ッテ行クト云フコトニスル、サウスレバ單ニ感化敎護法ト現在ノ感化法トノ關係ニナッテ來ル、此場合ニ於テ政府ハドウ云フ御意見デアリマスカ、矢張現在ノ感化法ニモ改正スル必要ヲ認メテ居ラレルノデアリマスカ、ドウデ

スカ

○小山國務大臣 感化法ヲ改正スルカドウ
カト云フコトハ、是ハ内務省ノ所管デアリ
マスカラ、私カラハ申上ゲラレマセヌガ、
司法省トシテ意見ヲ申上ゲマス、感化法
ノ今日ノ範圍ノ程度ノモノヲ改正スルト云
フコトデ法案ガ出來テ居リマスナラバ、司
法省ハ決シテ不用意デハナイノデアリマ
ス、問題ハ少年法ニ觸レテ來ル點ニ於テ一
寸御同意シ兼ネルト云フノデアリマス
○牧野委員長 ソレデハ今日ハ質問ハ此程
度ニ致シテ置キマシテ、本日ハ是デ散會致
シマス、次會ハ二十四日ニ開會致シマス
午後零時十分散會